

いのちと健康

ニューズ NO. 18

1992年 6月15日

愛知働くもののいのちと健康を守るセンター
名古屋市中区平和二丁目2番3号
高齢者労働会館5F TEL FAX 052-322-0406

医療と看護を語るシンポジウム
約400人が参加
5/23名古屋市教育センター

深刻な看護婦不足が社会問題化になるなか、よい看護を国民の手に取り戻そうと5/23、名古屋市教育センターで「医療と看護を語るシンポジウム」が開かれ、約400人の市民が参加しました。

実行委員会は、愛知健康センターをはじめとして名古屋大学教職員組合、自治労連愛知県本部、名古屋市職労病院支部、名古屋市立大学教職員組合病院支部、愛知県医療労働組合連合会が参加し開催されました。

シンポジウムでは、医師、看護婦、患者、弁護士がそれぞれの立場から、現在の看護の現場が抱える問題点や、今後の方向性について報告しました。

名古屋過労死弁護団の水野幹男代表は、看護婦の労災認定問題を取り上げ、夜勤や残業の改善の緊急性を指摘し「在職死に対する労働組合の追及が労働条件の改善につながっていく」と話しました。

胃がん患者と家族でつくる「いずみの会」の小松康弘会長は、看護婦不足が患者との対応を機械的にしていると話しました。

名古屋市立大学病院小児科病棟の看護婦黒田美千代さんは、「患者の要求にこたえるため、勤務が終ってから対応している」と現状を話しました。

国立東名古屋病院内科医長の三輪太郎氏は、「先進国のなかで際立つ貧しい医療と冷たい福祉」の実態を告発し「患者と国民の切実な要求にこたえる医療の実現は、看護婦問題の前進で切り開かれる」と訴えました。

(5/25「赤旗」より転載)

人間らしく生き働くために
労基法を改正せよ !



福保労・河内麻利さんの

労災認定をすすめる会

5/31 勝利報告会 開催

午後1時半 サン・笠寺 1F

重度の障害者施設「むつみ福祉会・ディーサービスむつみ」の指導員河内麻利さん腰背痛症が業務に起因するものであるを、名古屋北労働基準監督署が、やっと「業務上」と認めました。

1990年12月末に申請して以来、1992年4月4日、正式通知のある日まで、1年4ヶ月の月日が流れました。

この間、多くの方々に御支援・御協力いただき心より御礼申し上げます。

河内麻利さんの労災申請が認定されたことは、この東海地方の障害者施設で初めてのことであり、3K職場とも6K職場と言われる福祉職場で働くものたちにとっては、まさに福音といえます。

職場復帰は実現せず

しかし、河内さんは現状での少ない職員配置・休憩をとるのもままならない貧しい福祉制度のもと職場に復帰することを断念せざるをえず、労災認定されると同時に退職ということになりました。

~~~~~  
報告会終了後、

『きたがわ てつ・ミコンサート』開催  
~~~~~

「トヨタ」の長時間労働を批判

労働者は人間、休憩が必要

IMF（国際金属労連）書記長が指摘

5/27～28の日程でIMF（国際金属労連）主催の「第7回トヨタ世界自動車協議会」が豊田市の全トヨタ労連研修センターで開催されました。

世界各国にあるトヨタ自動車の海外工場の労働組合が集まり労働条件などの意見交換をするもので、アメリカや台湾、オーストラリア、ブラジルなど10ヶ国・12労組の代表や、日本のトヨタ労組の幹部ら約100人が参加しました。

IMFのマレンタッキー書記長（ボルボ労組出身）は挨拶で、カンバン方式ともトヨタイズムとも呼ばれるトヨタの生産方式、労務管理にふれ、

▽下請けに依存した生産のため労組の組織率が下がる。そのため労働条件も下がり賃金も安い。

▽トヨタの成功は労働時間が長いこと。何故そんなに働かなければならないのか。トヨタの労働者は人間であり休憩が必要――

などとトヨタイズムの問題点を指摘しました。

また、米国カルフォルニア大学のロバート・コール教授は、「日本の自動車メーカーは過密労働だ。」と指摘しました。

(5/28「赤旗」報道より転載)

健康案内

過ぎたるは及ばざるがごとし

タバコの功罪

(名古屋市健康保険組合)

「けんぽ」家庭版より転載

功

●タバコを吸っているとリラックスして他人との話に間がもてる。

●仕事が一と区切りついたときなどの気分転換になる。

「百害あつて一利なし」といわれるタバコですが、それでもタバコを吸っている人は、タバコにいろいろな魅力を感じ、一朝一夕に捨てる事ができないようです。

罪

●ガンになりやすい。

タバコの煙の中には、数十種類の発ガン物質が含まれており、それを吸いこむ量が、ガンになる危険性をきわめて高くしています。肺ガン、喉頭ガン、食道ガン、肝臓ガンなど、タバコを吸う人は吸わない人にくらべてガンにかかる率が数倍も高くなるのです。

●心拍を速め、血圧を高くする。

ニコチンは肺から血液の中に入って心臓の拍動を速くし、血管を収縮させて血圧を高くします。喫煙者の血管は動脈硬化が年齢のわりにひどく進んでおり、心臓病で死亡する確率が高くなっています。

●まわりの人の命までも縮めている。

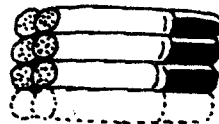
となりの人にまで流れていくタバコの煙ですが、吸って吐き出す煙(主流煙)より、タバコから立ちのぼる煙(副流煙)のほうがずっと有害物質が多いのです。本人はタバコを吸わなくても、ご主人が一日20本以上吸う家の奥さんは、吸わないご主人をもつ奥さんにくらべて肺ガンにかかる割合が2倍以上という報告もあります。

●動悸や息切れを起こし動脈硬化をひどくする。

タバコの煙に含まれる一酸化炭素が血液中に入ると、酸素を運ぶという血液の大切な役目が妨げられてしまいます。充分な酸素が供給されないと、息切れ、動悸がしやすくなり、スタミナがなくなり、疲れやすくなります。また、いつも一酸化炭素を吸っていると、動脈硬化がひどくなることもわかっています。

それでも吸いたい人に…たばこの害を少なくする吸い方

★1日に吸う本数を減らすこと。



★低ニコチン、低タールのたばこを吸うこと。



★胸まで吸い込まず、軽くふかすこと。



★フィルターつきたばこを吸うこと。



★連続して吸わず、間をおいて吸うこと。



★短くなるまで吸わないこと。



①1日3杯ぐらいまでにとどめる。



②ブラッパは避ける。刺激を弱める意味でミルクをたっぷり入れた方がよい。



③砂糖は少なめに。スプーンに軽く1杯ぐらい。



④夜は控える。カフェインの覚醒作用や利尿作用は夜には不向き。



⑤すぎつ腹には禁物。



⑥間隔は最低3時間あける。カフェインがからだから消えるのには3~4時間かかる。



⑦だばこと一緒に飲まない。一掃だと胃をこわしやすい。



健康的にコーヒーを飲むコツ

●疲れがとれ、頭がスッキリする。
コーヒーに含まれるカフェインは、大脳に働いて精神機能・知覚機能の働きを促し、眠気、疲労感をとおり思考力を増進させます。さらに運動機能を高め活動能力を増します。また、心臓の筋肉に働いて、その収縮力を高めるのです。そのため、コーヒーを飲むと疲れがとれると感ずるのである。

●食後のコーヒーは消化を助ける。
コーヒーに含まれるカフェインは胃粘膜を刺激する作用があり、胃液の分泌を亢進します。胃液分泌が高まるとともに胃酸の分泌も高まります。食後にコーヒーを飲むと、カフェインの働きである程度消化を助けるともいえます。

●コーヒーは胃を荒らす。
胃液の分泌を促し消化を助けるカフェインですが、胃に食物が何も入っていない状態で濃いコーヒーを飲むことは、胃を刺激して胃炎や胃潰瘍の原因ともなります。とくに胃の悪い人は注意が必要です。

●飲みすぎると心臓病になりやすい。
1日に6杯以上コーヒーを飲んでいる人は、全く飲まない人にくらべ心筋梗塞にかかる危険率が約2倍も高いという調査結果がアメリカで発表されています。その因果関係ははっきり証明されていませんが、いずれにしても多飲はよくありません。とくに砂糖の入れすぎは血中の中性脂肪値を増やし、動脈硬化を起こす原因の一つになります。

功

罪

お知らせ

人間らしく生き働くための

第1期 いのちと健康大学

時間 毎回 18:30 ~ 20:30

場所 高齢者労働会館2F会議室

定員 50名

第1回 2月25日(火)

「いのちと健康を守るとりくみの歴史」 (山田信也氏)

第2回 3月10日(火)

「長時間労働と過労死をなくすために」 (佐々木昭三氏)

第3回 3月24日(火)

「人間らしい生活と労働時間短縮」 (伊藤欽次氏)

第4回 4月7日(火)

「夜勤・交替制労働と私たちの健康」 (小野雄一郎氏)

第5回 4月21日(火)

「職場の労働安全衛生活動のすすめ方」 (吉川 正春氏)

第6回 5月12日(火)

「私たちの労働・生活と成人病」 (徳田 秋 氏)

第7回 5月26日(火)

「ストレス時代を生き抜くために」 (菊川 裕平氏)

第8回 6月9日(火)

「高齢化社会の到来と私たちの権利と・社会保障」 (加藤孝夫氏)

第9回 6月23日(火)

「いのちと健康を守るとりくみの視点と今後の方向」 (山田信也氏)

参加費：全課程 9000円(10000円)

1回 1500円(1800円)

()内は未加盟団体

申込みは、愛知健康センター TEL322-0406

参加費は、当日受付でお受けします。